

被災地と、みんなを結ぶ

2015年10月16日 No.41

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

〈2015第4弾〉

★東京→福島

★北海道→宮城

★長崎・佐賀→岩手

同時開催！

東北の子ども応援 わんぱくプロジェクト

7～8月に続き、10月10～12日の日程で「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」が開催されました。

夏には東日本大震災で被災した東北3県（岩手・大船渡市、宮城・気仙沼市、福島・いわき市）の子どもたちを北海道、東京、長崎・佐賀の各地方連合会が受け入れましたが、今回は受け入れ側の子どもたちが東北3県に行き、自然災害への防災の意義を学んでもらうことになりました。

3県ともに津波で被災した現地へ。復興は進んでいますが、当時の姿が残る建物も存在します。それまでは仲良く友だちと話していましたが、北海道、東京、長崎・佐賀の子どもたちは実際に被災地を目にして真剣な表情に変わりました。

子どもたちはこの夏以来、約3カ月ぶりの再会です。もう顔見知りということもあって、子どもたちはすぐにうち解け、思いっきり交流を楽しみました。また、最終日はもちろん、ところどころの場面で連絡先を交換する光景も多く目にしました。

解散式では「とても楽しかった」「たくさんの友だちと仲良くなれて良かった」という感想を何度も聞きました。同時に「楽しかった旅行」というだけではなく、「大震災を忘れない、風化させない、その教訓を活かす」というプロジェクトの大きな目的も達成できました。

運営に携わっていただいたスタッフの皆さん、子どもたちを送り出してくださったご家族の皆さん、プロジェクトへのご理解、ご協力、本当にありがとうございました。



～子どもたちの3日間～

★岩手★



陸前高田市、道の駅「タピック45」跡を視察。



神津連合新会長も視察に訪れました。



地元の漁船に乗って大船渡湾を横断！

★宮城★



津波で被害にあった南三陸町の防災対策庁舎を目の前にして。

★福島★

語り部の方から当時のお話を聞きました。



斧でかいっぱい土を掘り、防災林植樹も体験しました。



工場見学後、みんなで実際に笹かま作り。

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

●連合・連帯活動局

TEL : 03-5295-0513

FAX : 03-5295-0547

Eメール : rentai@sv.rengo-net.or.jp